

第 1 7 回九州テコンドー選手権大会 兼 第 1 5 回福岡県テコンドー選手権大会 要項

【 1 】 名 称

第 1 7 回九州テコンドー選手権大会 兼 第 1 5 回福岡県テコンドー選手権大会

【 2 】 主 催 九州テコンドー連盟
幹 事 福岡県テコンドー連盟

【 3 】 主 管 日本テコンドー協会（J T A）

【 4 】 目 的

- 1) ルールを尊ぶ日本跆拳道の試合を通じて九州会員の健全な精神涵養及び体力増進に貢献する。
- 2) 競技武道としての日本跆拳道を通じて青少年の向上心および胆力を涵養する。
- 3) 信義と礼儀を重んじる日本テコンドーを通じた社会教育の意義を高める。
- 4) 2 0 2 6 年 1 1 月 2 8 日（土）1 0 : 0 0 横浜武道館 第 3 7 回全日本FT大会同等記録会選考会

【 5 】 開 催 日 時

2 0 2 6 年 9 月 1 3 日（日）1 1 時 0 0 分
審査受験者 9 時 4 5 分集合

当日日程

9 : 4 5 審査受験者集合
1 0 : 0 0 開場・設営開始
1 0 : 1 5 第 1 5 7 回秋季昇級昇段審査会・福岡太宰府会場審査開始
1 1 : 0 0 大会開会式開始 注意 昼食時間はありません。
1 5 : 0 0 基礎理論講義開始（参加者・非有段者および保護者）
1 6 : 1 5 正当防衛論開始（参加者・二段以上）
終了後 九州テコンドー連盟会議
1 9 : 3 0 九州テコンドー連盟懇親会

【 6 】 開 催 場 所

とびうめアリーナ（太宰府総合体育館）柔道場

福岡県太宰府市大字向佐野 2 1 - 2 0 9 2 - 4 0 8 - 1 3 5 4
九州自動車道「太宰府 I C」下車約 3 k m、「筑紫野 I C」下車約 6 k m 無料駐車場有
電車 西鉄「都府楼前駅」下車徒歩 1 0 分

【 7 】 参 加 資 格

- 1) JTA有級者（黄帯・7 級以上）、有段者。
- 2) 健康（持病を隠していた場合、重大な事故につながり、かつ保険もおらない）であり、かつスポーツ安全保険（同上）に加入している者。
 - ・ 契約している保険会社に問い合わせたところ
組手試合中の打撃の伴わない死亡事故・後遺障害・怪我等は保険が適用されません。
例 1) 熱中症
例 2) 要項には「健康であること」が参加絶対条件であるが、本人が持病を隠して参加し、死亡事故・後遺障害・各種怪我をした場合
例 3) 極度の緊張で打撃を伴わず転倒し、死亡事故・後遺障害・各種怪我をした場合
例 4) 過呼吸症候群等の呼吸系臓器の病気
命ほど大切なものではありません。組手試合参加絶対条件である健康か否かは日常の練習中、判明しているはずなので当該責任者は参加させないように指導して下さい。
- 3) 一部組手は 1 級・茶帯～有段者。

- 4) 一部蹴武型は有段者に限る。少年少女部の有段者は参加できる。
- 5) 一部少年少女部蹴武の型 ～ 有段者
- 6) 二部組手は、イ) 1 級・茶帯～有段者
ロ) 過去、1 年以内の J T A 公式戦で入賞経験を有する 5 級・緑帯以上の有級者。
- 7) 二部蹴武型は、茶帯～有段者。なお、少年少女部の有段者は参加できる。
- 8) 三部組手は、黄帯～茶帯。
- 9) 三部蹴武型は、黄帯～茶帯。ただし、優勝経験者は参加できない。二部へ出場。
- 10) 少年少女部の全試合は、黄帯～黒帯。有段者は一部に挑戦することが望ましい。

【 8 】 試 合 種 目 ・ 表 彰

I 、 組 手

一、第 1 7 回九州テコンドー選手権大会

一部フルコンタクト・テコンドー組手試合
最優秀選手 1 名、トロフィー授与。該当者なしの場合もある。
一部組手及び一部蹴武型の二種目で優勝（もしくは入賞）することが望ましい。

1 , 男子無差別級組手

優 勝：メダルと賞状、 準優勝～三位：メダルと賞状

2 , 女子無差別級組手

優 勝：メダルと賞状、 準優勝～三位：メダルと賞状

二、第 1 5 回福岡県テコンドー選手権大会

1 、二部 J T A ライトコンタクトテコンドー組手

- 1) 軽量級（ 6 3 kg 未 満 ） ～ 優勝、準優勝、3 位（ 1 名 ）：メダルと賞状
- 2) 中量級（ 7 0 kg 未 満 級 ）～ 同上
- 3) 重量級（ 7 0 kg 以 上 ） ～ 同上
- 4) 女子無差別級 ～ 同上

2 、三部 J T A ライトコンタクトテコンドー組手

- 1) 軽量級（ 6 3 kg 未 満 ） ～ 優勝、準優勝、3 位（ 1 名 ）：メダルと賞状
- 2) 中量級（ 7 0 kg 未 満 級 ）～ 同上
- 3) 重量級（ 7 0 kg 以 上 ） ～ 同上
- 4) 女子無差別級 ～ 同上

3 四部 J T A 少年部特別ルール組手

- 1) 少年部 丙 （小学校 1 ～ 2 年生） ～ 優勝～3 位：メダルと賞状
- 2) 少女部 丙 （小学校 1 ～ 2 年生） ～ 同上
- 3) 少年部 乙 （小学校 3 ～ 4 年生） ～ 同上
- 4) 少女部 乙 （小学校 3 ～ 4 年生） ～ 同上

- 5) 少年部 甲 (小学校 5 ～ 6 年生) ～ 同上
- 6) 少女部 甲 (小学校 5 ～ 6 年生) ～ 同上
- 7) 中学生男子軽量級 (50kg 未満) ～ 同上
- 8) 中学生男子中量級 (50kg 以上) ～ 同上

注意 1 少年少女部は、事故防止のため、ヘッドギア、スネサポーター、J T A 公認胴防具、ファールカップ (男子のみ) を着用しなければならない。

注意 2 エントリー人数に応じて統合する場合があります、保護者は主催者に一任することを予め同意して下さい

- ①少年部・少女部組手の 1 回戦は、最もエントリー選手中、最も体重差が少ない選手と対戦予定。
ルールは一本勝ちを禁止しているライトコンタクト・テコンドー・ルールであり、遠心力がかかり最も危険な上段回し蹴りを禁止しているため、選手双方が定まれたルールを守っていれば事故が起こらないと考えます。
- ②義務教育課程の子供は成長段階に差異があり、年齢が同じであっても身長・体重に差異があります。
また、身体の成長が著しい子供は、1 学年上の子供より大きい場合も珍しくありません。
つまり子供の場合、学年や年齢で格闘技の試合の階級を区切るのは、身体的に難しいといえます。
しかし、手技のボクシングのように体重のみで区切るのも問題があります。
なぜなら、テコンドーは蹴りの勝負であるため、身長差＝足の長さが勝敗を左右するからです。
そのため学年という大まかな基準で募集し、申請書記入の体重と身長、戦歴による実力を考慮し、対戦表を作成します。
たとえば (過去の事例)、少女部丙にエントリーした小 2 女子 (体重 23kg) が 1 名、少女部乙にエントリーした小 3 女子 (体重 25kg) が 1 名の場合、
「小学生低学年女子」として統合しワンマッチを行いました。
あるいは、身長が低く体重が軽くとも、過去の試合において入賞している場合、大きな相手であっても、実力があるので、充分、戦えると判断した場合は対戦させることがあります。
- ③男女中学生は、エントリーの状況に応じて有段者と有級者中の上級者を統合する場合があります。
たとえば、中学生男子組手有級者クラスで、同じクラブ内の選手のみがエントリーしている場合、他のクラブ所属選手と対戦した方が精神力を強化するには有意義であるからです。
また有段者が身長 160cm 以下で、有級者が身長 180cm に近い場合もあり、体格差を克服する試練を有段者に課すことで諦めない強い精神の涵養にも役立つからです。

注意 3 男・女中学生や高校生の有段者は一般の部に参加できます。
ただし、自己責任とします。保護者の許可が必要です。

Ⅱ、蹴武型試合 (全種目男女混合)

1、第 17 回九州テコンドー選手権大会蹴武型試合

- 1) 一部 A 級蹴武の型試合 (有段者・茶帯) ～ 優勝、準優勝、3 位：メダルと賞状
- 2) 一部 B 級蹴武の型試合 ～ 同上
- 3) 団体型 ～ 優勝チームのみ表彰

2、第15回福岡県テコンドー選手権大会蹴武型試合

- 1) 一部C級蹴武の型試合 (有段者・茶帯) ～ 優勝、準優勝、3位：メダルと賞状
- 2) 二部蹴武の型 ～ 同上
- 3) 三部蹴武の型 ～ 同上
- 4) 少年少女部有級者蹴武の型試合
 - ① 小学生低学年(3年生以下。未就学者可) ～ 同上
 - ② 小学生高学年(4年生～6年生) ～ 同上
 - ③ 中学生 ～ 同上

注意1 少年少女部の有段者は、すべての一般の部に挑戦できる。

注意2 型の試合は、年齢差、体力差、性差は、練習量で充分補えますので統合する場合があります。

注意3 一部は一部で統合、二部以下も統合する場合があります。

【9】試合ルール等

一、組手試合ルール

1、試合ルール

日本テコンドー協会本部HPの通り。必ず一読

- ① 一部 JTAフルコンタクトテコンドー・ルール(蹴美7WILLルール)
ただし、本大会より中段突き一本勝ち廃止に伴い中段への強打禁止

- ② 二部、三部 JTAライトコンタクトテコンドー・ルール

- ③ JTAライトコンタクトテコンドー・ルールに基づく少年少女部特別ルール

2、試合時間、判定基準等

1) 試合時間

- ① 一部・二部・三部 本戦2分 1R
延長戦2分(1R迄)。再延長戦で決着がつかない場合、体重判定とし、軽い選手を勝者とする。
- ② 中学生 本戦1分30秒 1R。
延長戦1分30秒(1R迄)。延長戦で決着がつかない場合、体重判定とし、軽い選手を勝者とする。
- ③ 少年少女部小学生 本戦1分 1R。

延長戦 1 分（1 R 迄）。延長戦で決着がつかない場合、体重判定とし、軽い選手を勝者とする。

2) 敵点 2、又は注意 6 で「失格」とする。

3) 実力差が著しい場合又は戦意喪失が認められる場合、主審権限により「棄権」を宣告する。

4) すべての試合は、判定の際、蹴美力の優劣を重視する。

5) 試合中、コンタクト・レンズがはずれても中断しない。万一、中断した場合、減点 1 とする。

注意 1 計量は 1 回のみとする。パスしない場合は失格とし参加費は返金しない。
無理な減量は死亡事故につながり極めて危険なため禁止。

注意 2 一定数のエントリーに達しない場合、階級統合するので参加者は予め同意しなければならない。
参加者（未成年者の場合は保護者含む）は、上記を予め同意しなければ試合にエントリーすることはできない。エントリーをもって同意とみなす。

注意 3 すべての組手選手は、青または赤のヘッドギアを持参用意し、着用しなければならない。

注意 4 女子三部組手、少年少女部組手は、胴防具（青・赤）を着用しなければならない。

注意 5 少年少女部組手は新ルールを採用する。

二、蹴武の型・試合ルール

日本テコンドー協会本部 H P の通り。必ず一読

1、一部 A 級蹴武型ルール

2、一部 B 級蹴武型ルール

3、一部 C 級蹴武型ルール

4、その他 蹴武型 C 級型ルール

5、団体戦型

① 3 名で 1 チームとする。

② 自由型 1 つで勝敗を決するものとする。

ただし、2026 年 11 月の全日本 FT 大会同等記録会・団体戦型においては、自由型 2 つを演武できるチームでなければならない。

その他は全日本 FT 大会に準じる

【 1 0 】 大会出場申込締切り日と参加費

2 0 2 6 年 9 月 3 日（必着）、

参加費用 1 種目 ￥ 4 4 0 0

2 種目 ￥ 6 6 0 0

3 種目 (組手&型&団体型) ￥ 7 7 0 0

を下記郵便口座へ振込み、

振込みを証明する控え（コピー可）を参加申込書に添付し、下記まで郵送して下さい。

1、参加費振込先

〔口座番号〕 0 0 1 6 0 - 6 - 1 8 5 0 5 8

〔名義〕 日本テコンドー協会

振り込み手数料節約のため

注意1 審査受験者は、試合参加費と審査受験料をあわせて振り込んでも構いません。

注意2 家族会員は、個々の試合参加費と審査受験料をあわせて振り込んでも構いません。
振込手数料軽減奨励

2、申込書送付先 * 大会実行委員長へ直送

〒 8 1 8 - 0 0 6 7

福岡県筑紫野市俗明院 1 5 8 番地 1 0 2 2 号

福島成勇 殿

【 1 1 】 大会役員

大会会長 河 明生（九州跆拳道連盟会長）

実行委員長・福島成勇 司会（賞状兼任）三上智範 審判 廣川禎教、北川弘幸、市瀬実里 他

【 1 2 】 注意事項

- ・試合参加のためには、所属クラブ長の許可（申請書にサイン）が必要です。
- ・電話やFAX、試合申込み期限を超えた試合の申込みは受け付けません。
- ・所属クラブ長・責任者に試合参加の意志表示を伝えた場合、棄権しても参加費用は納めて下さい。
- ・理由の如何を問わず一度納入された参加費は返却しません。
- ・試合当日の参加費支払いは一切受け付けません。

・ 各種保険証の現物を持参して下さい。

骨折などの事故がおきた場合、最寄りの救急病院に運び治療を受けることになりますので、各クラブは病院に付き添う「救急担当者」を予め決めて下さい、

- ・横浜武道館では、「ゴミの持ち帰り運動」を実施しています。
各支部は「試合会場美化責任者」を決め、弁当やペットボトルなどのゴミを持ち帰ることを義務づけます。また武道館内は禁煙です。
- ・ロッカールームや試合観覧席などでの盗難には十分注意してください。
武道館および大会主催者は一切責任を負いません。

【 1 3 】 観覧等

一般の見学は可能です。ただし、飲酒者や乱暴な言動での応援は即時退去させます。

体育館・武道館の定める飲食禁止場所での飲食や喫煙、試合会場近隣での違法駐車は禁止します。

**【 1 4 】 J T A 試 合 法 一 自 然 災 害 ・ 台 風 等 に 伴 う
体 育 館 ・ 武 道 館 の 使 用 禁 止 の 場 合 の 処 置**

地震や台風等の自然災害で体育館・武道館の使用禁止・中止勧告が出た場合、
参加費は返金できません。

第 1 7 回九州テコンドー選手権大会 兼
第 1 5 回福岡県テコンドー選手権大会参加申込書
大会会長 河 明生殿

私は、下記の事項を誓約します。

一、貴大会の大会規約を遵守し、大会関係者の指導、勧告、注意などに従います。

二、貴大会の試合ルールを遵守します。とくに、顔面強打は、絶対行いません。

三、審判の判定に対する絶対性を尊重し、武道家として模範的行動をとることを誓います。
試合後、万一、判定を不服とした自己の行為が、審判に対する侮辱的行為であると大会主催者からみなされた場合、試合結果の無効、除名や試合出場停止処分などの処罰を受けても異議を申し立てません。

四、私は、「テコンドーは、格闘技であり安全ではない」という事実を認識し、自らの意志により、本大会への参加を希望します。それゆえ、試合において如何なる事故が生じても自己の責任として処理し、本大会主催者ならびに貴大会関係者に対し、異義を申し立てないことを誓います。

五、私は、自己の所属するクラブを通じて「スポーツ安全協会スポーツ安全保険」に加入しております。

六、私は試合で万一、「事故当事者」となった場合、下記の保険内容での処理にあらかじめ同意します。
本大会主催者加入保険（三井海上保険代理店さくら保険Ⅱ 0 4 2 - 3 6 8 - 0 7 4 4 と契約）
死亡 1 千万、後遺障害（失明など）1 千万、入院 1 日 6 千円、通院 1 日 4 千円

七、J T A 試合法一自然災害・台風等に伴う体育館・武道館の使用禁止の場合の処置も同意します。

八、私は組手試合参加絶対条件の健康な体であることに虚偽はありません。万一、打撃の伴わない死亡事故・重度後遺障害・大怪我等により保険金が支払われなかったとしても大会主催者に対し民事上の異議を申し立てません。上記、誓約し、ここに大会申込書を参加費と添えて提出します。

年 月 日

参加者 住所
(ふりがな)
氏名 印

保護者 住所
氏名 印 * 1 8 歳未満、高校生以下必要

所属クラブ名			参加費振込証明添付	
指導者サイン				
現級・段	年齢	歳		
身長	C m	体重		K g
過去（1 年以内）の大会成績				
1			* のり付けして下さい	
2				

出場種目（当日計量の際、申告体重を超えた場合は失格となります。）
組手&型の2種目出場者は、1枚の申請書で2ヶ所に○をしてください）

一部組手 ①男子無差別級 ②女子無差別級

二部組手 ①軽量級 ②中量級 ③重量級 ④女子差別級

三部組手 ①軽量級 ②中量級 ③重量級 ④女子無差別級

四部組手 ①少年丙 ②少女丙 ③少年乙 ④少女乙 ⑤少年甲 ⑥少女甲

⑦中学生男子軽量級 ⑧中学生男子中量級

蹴武型 ①一部A級 ②一部B級 ③一部C級 ④二部

⑤三部小学生低学年以下 ⑥三部小学生高学年 ⑦三部中学生

⑧団体型（団体名・)